

令和5年度 教育活動に関する保護者アンケート結果

学校評価委員会

<回収率> 小学部 94.0% 中学部 68.0% 高等部 81.0%
全体 82.5%

回答の傾向について

全体を通して「A」「B」の回答が80%を超える結果となりました。特に、重点目標及び各学部の重点目標に対する回答については90%を超える高評価となり、子どもたちの成長を保護者の方々が感じてくださっているという結果であると捉えられます。さらに、これらの項目に関する教職員アンケートと生徒アンケートについても高評価となっており、学校としての取り組みの成果が目に見える形となったと考えています。意見記述においても、子どもの成長を感じているという意見を多く頂きました。

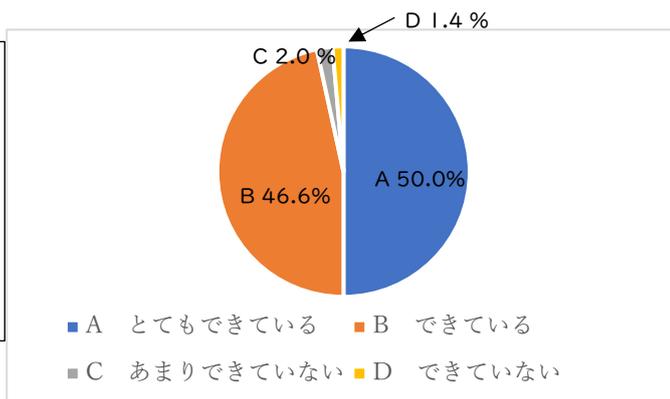
一方で、各学部の実年齢や発達段階におけるの困りごとや要望等も頂いています。改善策を検討しながら、一つ一つ取り組んでいきたいと考えます。

重点目標・重点事項

※重点目標1

学校は、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びの中で、学部間及び卒業後の学びの連続性を重視しながら、自立と社会参加に向けた資質・能力の育成を図っている。

A 50.0% B 46.6% C 2.0% D 1.4%



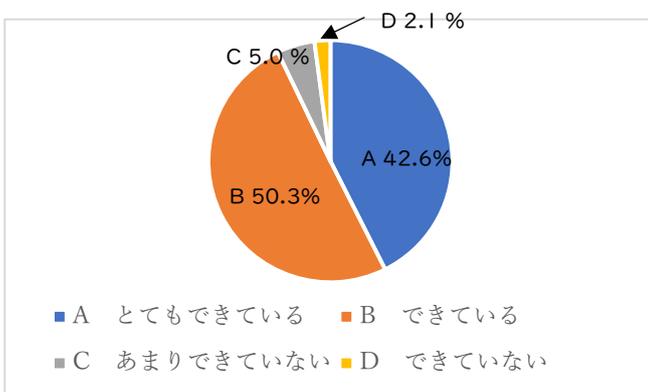
「A」「B」合わせての回答で96.6%となりました。

また、この項目に関連する各学部の重点事項(1)の達成状況を問う質問においても、各学部「A」「B」の回答が90%以上となり、授業や学校生活全般を通して、子どもの成長を保護者の方が感じていると捉えられる結果です。今後とも、子どもたちの成長のために学校と家庭で連携を図っていききたいと考えます。

※重点目標2

学校は、効果的なICTの活用を通して児童生徒の情報活用能力を育成し、児童生徒が様々な場面で一人一人の能力を発揮することができるよう努めている。

A 42.6% B 50.3% C 5.0% D 2.1%



「A」「B」合わせての回答で92.9%となり、昨年度と比較して大きく数値が上昇しました。子どもたちの学習において、タブレット端末の活用やインターネット

を使用した授業を御理解いただいている結果であると捉えられます。この質問に関連する各学部の重点事項（2）については、若干数値が下がるものの「A」「B」の回答で80%以上となりました。お子さんの発達段階や学習状況による差を感じることはあると思いますが、今後も情報活用能力の育成に向けて「ICTの効果的な活用」に取り組んでいきたいと考えます。

研修

※研究推進

学校は、様々な授業において、児童生徒の言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力の育成に努めている。

「A」「B」の回答

小学部 97.0% 中学部 91.0% 高等部 94.0%



全学部において、90%を超える結果となりました。昨年度と比較し、どの学部においても数値が大きく上昇しています。本校では、子どもたちが授業で身に付けた力をさまざまな場で発揮させ、社会に参加していく豊かな力を目指し「学習や生活の場面で活用できる！生きて働く力を育む授業づくり」をテーマに3年計画で校内研究を進めています。2年次となる今年度は「学習の基盤となる資質・能力を育てる」をサブテーマとし、全教員が13グループに分かれて「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を育成する授業づくりの研究に取り組みました。6月には校内研究のテーマに関わる内容の講演会を実施しており、これらの取り組みが高い評価へとつながったのではないかと考えます。

保健

※保健指導の充実

学校は毎日の健康管理や歯みがき指導、性に関する指導など、健康づくりに関する保健指導を行っている。

「A」「B」の回答

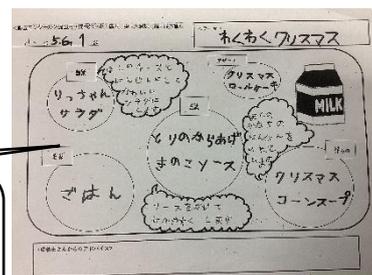
小学部 97.0% 中学部 91.0% 高等部 92.0%



全学部で90%を超える結果となりました。「性に関する指導」については、担任と養護教諭が連携しながら指導を行っています。児童生徒の実態に合わせ「男女の体の違い」や「人との距離」などの授業を実施しており、必要に応じて、養護教諭が指導の相談を受けたり、教材の貸出等を行ったりしています。意見記述では、「性に関する指導内容を具体的に教えてほしい。不足と思われる内容については、家庭で補いたい。」との意見もあったので、今後も家庭と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えます。

また、保健の項目に関しては、「給食指導の充実」についても、全体を通して「A」「B」の回答が99.6%と高い評価となりました。今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。

「献立コンクール」…各学級で栄養のバランス等を考えながら取り組みます。栄養士からコメントをもらい、グランプリに選ばれた献立は12月頃から提供されます。



渉外

※会員間相互の連携・協働

父母と教師の会で行っている夏祭り、「親睦会」や「進路座談会」などの事業に参加したいと思っている。参加している。

「A」「B」の回答

小学部 88.0% 中学部 83.0% 高等部 68.0%

小・中学部と高等部で結果に差が見られる結果となりました。生徒アンケートの「地域の行事へ参加したいか」を問う質問でも、高等部生徒の回答は「はい」が50%程度となっています。実年齢や地域の特色等、様々な理由があると捉えています。学校としてできる情報の発信を今後も続けていきたいと考えます。

<意見記述から>

- ・キャリア支援部「進路指導の充実」…小学部2年生なので、進路について、将来について、年齢的にまだ具体的なことは考えていませんが、進路座談会や事業所見学など、少しずつ機会をみて参加していければと感じました。子どもの将来について、親自身勉強していかなければと感じました。
- ・タブレットなどを用いた学習について、詳しくわからないので「C」をつけました。
- ・タブレットを授業や学習に取り入れて、もっと有効的な使い方をしてほしい。(YouTube を見るとかではなく)
- ・生徒の特性に合わせた指導をして頂いたり、保護者も勉強できる機会を毎年企画して頂いたりしており、とてもありがたく思っています。
- ・子どもの障がいの状態によって、本人、家族の生活や指導の内容、アプローチが違うものだと思うので、大変なことと思います。先生方にはとても感謝しております。同じ支援学校内でも、いろいろな障がいがある子どもたちがいて、こんなに多様なのかと改めて感じます。学校主体でいろいろとやれることが多くありますが、あまり多くなくてもいいかなとも思います。
- ・将来役に立つ作業学習を行ってほしい。
- ・資料も配布いただき各部の情報がとても分かりやすかったです。高等部での育成の中心は、「自己肯定感」「自己有用感」とあり、今後とも心の育成に力を入れていただけるとありがたいです。
- ・SNSについては、定期的に話をしていただけると助かります。
- ・毎日楽しく充実した日々を過ごさせていただいています。

他にも多くのご意見をいただきました。改善策を検討しながらより良い学校運営に向けて一つ一つ取り組んでいきたいと考えます。

